

第32回秋田市地域公共交通協議会 議事要旨

開催の日時 令和2年11月5日(木) 午前10時30分から11時30分まで

開催の場所 秋田市役所 第3・4委員会室

委員の定数 23名

出席委員 23名(うち代理出席7名)

会議内容

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議
 - (1) 第2次秋田市公共交通政策ビジョン等の進捗評価について
 - (2) 第3次秋田市公共交通政策ビジョン等の骨子案について
- 4 その他
- 5 閉会

司会

- 1 開会
- 2 会長あいさつ

これより、次第3の協議に入る。協議会設置要綱第4条第2項の規定により、協議の進行を会長に願います。

会長

- 3 協議
 - (1) 第2次秋田市公共交通政策ビジョン等の進捗評価について

協議3(1)の第2次秋田市公共交通政策ビジョン等の進捗評価について、事務局から説明願う。

事務局 (資料に沿って説明)

会長 協議(1)について質問等はないか。

会長 評価項目は以前から同一のものか。第1次ビジョンの際、進捗評価は実施していたか。

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 第1次では毎年の評価ではなかった。 |
| 会長 | 長い目で見てどうだったのかを把握すると、より傾向がつかみやすいのではないか。 |
| 委員 | 6番、9番、13番は平成27年度から平成30年度までデータがなかったということか。 |
| 事務局 | 秋田市しあわせづくり市民意識調査を元としている。5年毎の調査のため、この期間はデータがない。 |
| 委員 | 中心市街地の歩行者・自転車空間整備について、今後どのような進捗を図っていく考えか。 |
| 事務局 | 交通政策課だけでなく、都市計画のなかで中心市街地活性化という大きな目標を持ちながら様々な協力を推進しているところである。芸術文化ゾーンを中心市街地に設定し、各施設等を含めて賑わい創出の推進等を行っている。 |
| 委員 | 中心市街地11地点の通行量と中心市街地循環バス「ぐるる」の利用者数はどの程度関連しているのか。通行量は平成30年度と令和元年度では微増だが、同期間で「ぐるる」の利用者数は約5千人増加している。 |
| 事務局 | 11地点中4地点で「ぐるる」のバス停がある。「ぐるる」の利用者は観光客が多く、クルーズ船の寄港により増加したものと考えている。 |
| 会長 | 「ぐるる」の利用が増えると歩行者通行量は減る、という関係性があるのか。 |
| 事務局 | 「ぐるる」利用者数は年間を通しての総数である。通行量は一定期間のみの調査結果である。このため天候等も含めて差異が生じる。目的の場所まで行きやすくする、回遊性を高めるという点で、「ぐるる」利用が増えると通行量も増えるとの認識である。 |

| | |
|------|---|
| 委員 | 事故死傷者数について、特別な活動を実施したのか。何が効果を発揮したのか。 |
| 事務局 | 広報等だけでなく、人口減少、自動車技術発達、日々の啓発活動等が影響している。 |
| 会長 | 協議（1）については承認で良いか。 |
| （一同） | 承認。 |
| 会長 | （2）第3次秋田市公共交通政策ビジョン等の骨子案について 協議3（2）の第3次秋田市公共交通政策ビジョン等の骨子案について、事務局から説明願う。 |
| 事務局 | （資料に沿って説明） |
| 会長 | 協議（2）について質問等はないか。 |
| 委員 | ICカードに関する記載があるが、導入目標年度の記載はあるか。市民ニーズとしてICカードの導入希望があるが、いつまでに実施するのかが不明である。 |
| 事務局 | 目標年次の記載はない。予算化済みであり、導入に向けて事業者と協議を進めている。導入は令和3年度中目標であるが、コロナの影響もあるため、具体の時期についても協議中である。 |
| 会長 | 施策パッケージの具体例で「鉄道駅のバリアフリー化」が「多核集約型の都市構造を形成する～」の中に含まれていることに違和感がある。施策パッケージとその内容につながる説明があればより分かりやすいのではないか。 |
| 事務局 | 分かりやすく記載できるよう検討する。 |
| 委員 | 多核型の都市構造形成について、拠点内交通手段、家からバス停までの交通手段が確保されなければ進まないのではないか。グリーンスローモビリティ等に取り組む自治体もある。 |

| | |
|------|--|
| 事務局 | ラストワンマイルが課題と捉えている。公共交通網の「網」をかけ直すことが重要だと考える。タクシー等の公共交通を総動員してかけ直し方を検討していく。 |
| 委員 | 第1次、2次ビジョンではタクシーが入っていなかった。今回は入っており大いに期待したい。現在、文化会館で大規模な会議やイベントがあっても、タクシーの停車場所がなく困っている。乗降場所の確保を検討して欲しい。 |
| 事務局 | 指摘を踏まえ検討する。 |
| 会長 | 第3次ビジョンは第2次を踏襲しながら、交通資源をフル動員する、という部分が大きく変化した。この説明を反映できないか。キャッチコピーではないが見えるようにして欲しい。 |
| 事務局 | 目標Ⅱ1等で分かるように示す。 |
| 会長 | 今回は目標までの検討か。具体内容は次回検討会で協議、という認識で良いか。 |
| 事務局 | 指摘の通りである。現在、事業者等からヒアリングを実施中である。大きな変更は考えていないが調整結果を踏まえ、次回、素案を示す予定である。 |
| 会長 | 協議(2)については承認で良いか。 |
| (一同) | 承認。 |
| | 4 その他 |
| 事務局 | (事務局から報告) |
| 司会 | ただいまの報告について、質問等はあるか。 |
| 委員 | コロナ関係で「ワーケーション」等もある。2次交通にも関わるが、どのような方針か。 |

事務局

関係者との協議が必要との認識である。

委員

デマンド交通、タクシーについても乗りやすい交通の整備の必要がある。

司会

以上で本日の協議会を終了する。